

ODA

しゃりん

92

沖縄脊髄損傷者連合会

編集：沖縄脊髄損傷者連合会 TEL/FAX 098-886-4211
 〒903-0804 沖縄県那覇市首里石嶺町4-373-1西棟2階・ボランティア小規模団
 体室
 Eメールアドレス sekiren@proof.ocn.ne.jp



沖縄脊髄損傷者連合会
 会長 仲根 建作

2011年
 初頭の「あいさつ」

昨年、民主党に政権が
 移り、期待したのですが沖
 縄の基地問題の混迷化、障
 がい者施策の停滞等と成果
 が見えなく、政治不信が広
 まった感があります。内閣
 府の「障がい者制度改革会
 議」において、障がい者基
 本法も含め抜本的な制度改
 革の議論があり、12月に
 は障がい者当事者意見を集
 約した「二次意見」が提言
 され、引き続き障がい者差
 別禁止法制定等の協議に入

る見込みです。

沖縄県においても障がい
 者権利条約制定運動のひと
 つの成果として、昨年の県
 知事選挙で仲井眞県知事の
 公約となり、去った1月3
 1日には、3万人余の署名
 とともに条約制定提言書を
 手渡すことができました。

この運動で、理事の上里一
 之さんが共同代表として参
 画し運動を引っ張ってこら
 れたましたことに敬意を表
 しますとともに、先記述の
 知事への提言提出の際に
 は、本部の大濱副理事長も
 来沖され、帯同していただ
 きました。ご支援ありがと
 うございました。今後は、
 同条例制定に向けて、沖縄
 県行政内で施策議論が移る
 ことから沖縄連もキチンと
 意見提言する役目を担うよ

うに努力したいものです。

明るい話題では、興南高校
 の甲子園春夏連覇は歓喜に
 沸きました。また、車椅子
 ラグビーのハリケーンズが
 初の日本一に輝きました。
 初の日本一に輝きました。
 車椅子バスケット朝日九州
 大会ではシーサーズが準優
 勝し、全国障がい者スポー
 ツ大会出場を決めるなどス
 ポーツ面では多くの活躍が
 見られました。しかし、沖
 縄連活動の基本であるピア
 サポート活動では、人材養
 成が進まず、予定していた
 ようには行動できなかった
 反省があります。昨年度か
 らの重点活動として取り組
 んだ「沖縄県障がい者ス
 ポーツ協会」設立は今年か
 ら法人化に向けた本格的な
 準備に入ることとなり忙し
 い年となることが想定され

ます。多くの県民の皆様が障がい者スポーツの意義を理解促進することが肝要です。今年の3月21日(月)・春分の日)に「おきなわ障がい者スポーツフォーラム」を14時から沖縄県総合福祉センターゆいホールで開催されますので、多くの会員の皆様には是非ご参加していただきたいと思います。

今年も会員皆様にとつて頼られる沖脊連となるよう役員一度鋭意努力させていただきます。また、会員同士が悩みも喜びも共感し合い、高め合う活動に結びつけるような活動にしたいものです。会員皆様のますますのご健康とご活躍を祈念いたしました。初頭のご挨拶とさせていただきます。

高嶺 豊氏 糸賀一雄記念賞受賞

昨年12月18(土)、沖脊連の相談役としてご尽力頂いている、高嶺豊氏(たかみね・ゆたか)が糸賀一雄記念賞を受賞され、沖縄国際大学厚生会館大ホールにて祝賀会が行われました事をご報告し、心よりお祝い申し上げます。

糸賀一雄記念賞について生涯を通じて障がい者福祉の向上に取り組んだ故糸賀一雄氏の心を受け継ぎ、障がいのある人やその家族が安心して生活できる福祉社会の実現に寄与することを目的として、障がい者福祉の分野で顕著な活躍をしている人に対して「糸賀一雄記念賞」を、障がい者福祉

高嶺
たかみね

に関する取り組みが先進的であり、今後の活躍が期待されている人に対して「糸賀一雄記念奨励賞」を授与する。授賞式を開催し、第14回糸賀一雄記念賞授賞式は2010年11月7日(日)に滋賀県で行われました。(財団法人・糸賀一雄記念財団HPより)



高嶺 豊氏

1949年9月2日沖縄生
高校2年生に

体操の練習中脊髄損傷
ハワイ大学大学院終了・国連アジア太平洋経済社会委員会(SCAP)を経て琉球大学 法学部 人間学科 教授
○主な研究テーマ
地域福祉の視点から、権利に基づき、障がい者が地域

で自立した生活を送るための福祉政策の向上に向けた提言や、物理的な環境(建設物、公共交通機関)を含むバリアフリーな社会環境の構築に向けての研究。障がい当事者のエンパワメントを支援する組織の結成と強化及び障がい者の権利擁護(アドボカシー)に関する研究。アジア太平洋地域の開発途上国の障がい者問題に関して「開発」の視点にたつて、南インド等の「障がい者自助グループ」の結成とその効果に関する研究。

沖脊連新年会

去る1月22(土)19:30、那覇新都心・トップノートにて、沖脊連恒例新年会が開催されました。今回も県共同募金会の

「歳末たすけあい募金」の助成金を活用して行われ、約35名の会員・家族の皆さんと共に、楽しい時間を過ごしました。

(報告：上里)



車いすバスケットボール九州大会報告

去った11月27(土)、28(日)に、沖縄市体育館において、車椅子バスケット

ボールの九州・沖縄地区大会を開催しました。地元シーサー初戦から準決勝戦までは危なげない内容で圧勝しました。決勝戦の相手は「太陽の家スパーズ(大分県)」。6大会連続同じ顔合わせとなりました。お互いに手の内は知り尽くしており、いつもと同じように開始からお互い譲らず接戦となりました。1つのミスが試合の流れを変える緊迫した展開に、会場に来てくれた皆さんの応援にも熱が入っているのが伝わってきました。シーサーズは、今大会も決勝戦で敗れてしまいました、悲願の初優勝はまたもや逃してしまいました。多くの方々が体育館に足を運んでくださり、他県の大

会では見られない盛況ぶりに、沖縄のバスケット熱を感じる事ができました。

また、たくましい選手達の力と技がぶつかり合う激しい場面が多く展開され、車椅子バスケットを初めて観たという方々から「激しかった」「速かった」「おもしろかった」というお声をたくさんいただくことができました。今大会を通して、車椅子バスケットの魅力と迫力を地元の皆様に知ってもらえたのなら幸いです。

沖縄には車椅子バスケットチームが1つしかありません。ですから、沖縄の皆様だけにナマの公式戦を観ていただけののは、数年に1度のことのような九州大会だけとなっております。

また、我々は、車椅子バスケットの魅力を広く伝えるだ

広告(ウイングル)

けでなく、スポーツを通して障がい者の社会参加の推進活動にも取り組んでおります。今大会を通じて、県内の障がい者が自らの可能性に自信と希望を持てるように、また、障がいの無い多くの人々が障がい者の可能性に気づき、社会全体に障がい者への理解が広がることを期待しております。

今大会の準備・運営には、本当に苦労しました。地方の小さなチームの在籍メンバーだけでは抱えきれない課題がたくさんあったなか、ボランティアで参加してくれた那覇工業高校や北谷高校バスケット部の皆様、専門学校SOLA沖縄学園のバスケット部の皆様など、本当にたくさんの方々を支えていただきました。また、

協賛いただきました企業様を始め、地元新聞社やテレビ局などにも本当に大きな力をお借りいただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。

準優勝ではありましたが、また今回も全国大会の切符を手にすることはできました。今大会の反省を活かし、今度は九州・沖縄地区の代表として東京で激しく、熱く戦ってきます。また変わらず応援をどうぞよろしく願います。

(報告：野原)

沖縄ハリケーンズ全国制覇

12月10日(金)〜12日(日)に千葉ポートアリーナ(千葉市)で「第12回ウイルチエーララグビー日

本選手権大会・第1回国際交流大会」が開催され、参加9チーム(国内8、韓国1)のトーナメント戦を勝ち抜いた沖縄ハリケーンズが初優勝しました。

北海道ビッグディッパーズとブラスト(埼玉)を下し決勝へ進んだ沖縄ハリケーンズの相手は大会6連覇を狙う強豪ブリッツ(関東)でした。試合は序盤から一進一退の展開で進み、2度の延長戦にもつれ込む程の大接戦になりましたが、最後は1点差を守りきり63対62で勝利しました。

応援して下さいった皆さんどうもありがとうございました。今年もチーム一丸となつて日本一を目指し頑張りますので応援宜しくお願いします。(報告：大城)

広告(ちはる歯科)